

令和6年度（2024年度）

特別選抜学生募集要項

帰国生徒選抜
社会人選抜
私費外国人留学生選抜

出願期間 令和6年（2024年）1月4日（木）～1月9日（火）

試験日 令和6年（2024年）1月24日（水）経済学部、理工学部

合格者発表 令和6年（2024年）2月16日（金）

令和6年度（2024年度）特別選抜募集要項【主な変更点】

【経済学部】

●総合経済学科1学科6コースへの改編

設置の理念：新しい時代を見据えた「学び」の進化

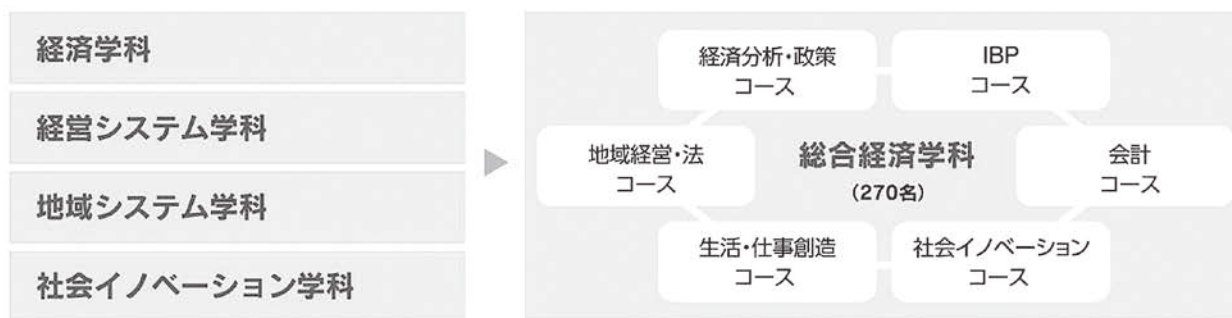
国連SDGs（Sustainable Development Goals）は、2030年をゴールにした「サステナビリティ」（持続可能性）社会をめざしています。一方で、この社会・企業・地域の持続的発展をめざす取組は2030年以降も続きます。

大分大学経済学部では、SDGsに対応しつつ、その先にある社会的課題にも対応できる力を育てるため、「サステナビリティ」を軸とし、地域・社会・生活の質を向上させる教育体制へシフトさせていきます。そのために、これまでの4学科体制から、経済・経営・地域研究の分野を融合した「総合経済学科」1学科とし、サステナビリティに対応する多彩な6コースを新たに設けます。

コースでは、社会の実態（リアル）を知り、課題探究型授業で自らの将来をデザインし、見つけた課題を専門的な知見を使って分析し、「学び」を集大成させていきます。こうした分野融合による多彩なコースを通じ、複雑・多様な社会課題に果敢に挑戦できる資質・能力を育てていきます。

4 学科 現行：(令和5(2023)年度)270名

1 学科 6 コース (令和6(2024)年度)270名



養成する人材像：総合的な基礎力を備え、社会の中核を支える人材

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材の養成をめざしています。

教育の特徴：自分の可能性を高める「学び」のしくみ

1学科6コース制の特徴は、早期からの、国内外での体験や、現実の資料分析を通じて、地域社会、国際レベルの現実の課題を理解するとともに、これによって、大学4年間での専門分野の学修を深めるための起点、体系的学修へのモチベーションづくりとすることにあります。

同時に、各コース各学年の中核となるセミナー形式の授業では、経済学・経営学を中心に法学・社会学等社会科学諸分野の専門教員複数の指導の下で学修を進めます。各コースにおける、こうした多様な専門分野からの視角と、分野を横断した学修を可能にするのが、総合経済学科という1学科の体制です。

各コースの特色：経済社会のサステナビリティに対応する多彩な6コース

・経済分析・政策コース

サステナビリティの観点から市場経済のしくみを検討し、政府、企業等で適切なデータ、根拠に基づき政策形成・評価ができる力を養います。

Keyword：EBPM、政策評価、経済学的思考

・IBP（International Business Perspectives）コース

英語などの外国語運用能力だけでなく、国籍・文化の多様性を理解し、協調してグローバルに行動する力を養います。留学する際には、給付型の奨学金で支援します。

Keyword：異文化理解、国際交流、グローバル人材

・会計コース

企業の財務的数値と非財務的数値（ESG関連指標）を活用し、企業内部・外部の利害関係者（ステークホルダー）の視点から、会計的に思考する力を養います。

Keyword：簿記、会計、ファイナンス、経営分析

・社会イノベーションコース

現代社会に存在するさまざまな社会課題や地域課題を発見し、それらに対して主に経営学の観点からのアプローチで新たな価値の創造（イノベーション）につながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養います。

Keyword：イノベーション、経営学、課題発見、課題探究、フィールドワーク

・生活・仕事創造コース

人口減少社会の課題を経済学・経営学・社会学・法律学・社会福祉学の学際的な視点で考え、人や地域をつなぐ力と、豊かな生活と仕事を自ら創り出す力を養います。

Keyword：子ども食堂、被災地との交流、食と農、協働、多様な働き方、8050問題

・地域経営・法コース

地域が抱える諸課題の解決に必要な地域経営（地域づくり）に関する知識・分析力と、地域の多様な利害を調整する法的思考力を養います。

Keyword：地方創生、まちづくり、リーガルマインド、マイノリティ、地域分析

目 次

	ページ
大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	1
大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	2
大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	7
I 帰国生徒選抜	
1. 出願資格	12
2. 募集人員及び選抜方法等	13
II 社会人選抜	
1. 出願資格	14
2. 募集人員及び選抜方法等	15
III 私費外国人留学生選抜	
1. 出願資格	16
2. 募集人員及び選抜方法等	17
IV 各入試の共通事項	
1. 採点・評価	18
2. 出願期間	18
3. 出願に必要な書類等	19
4. 出願に際しての注意事項	20
5. 個人情報の取扱い	20
6. 障がいのある者等の事前相談	20
7. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の 特別な配慮について	21
8. 受験票	21
9. 試験場	21
10. 不正行為の取扱い	23
11. 合格者発表	23
12. 入学手続等	24
13. 入学試験個人成績の開示	24
14. その他	25
15. 大分大学学生寮のご案内（予告）	26

【特別選抜出願書類等】

問合せ先
大分大学学生支援部入試課 TEL：097-554-7471 (平日の9：00～17：00) E-mail：nyukikak@oita-u.ac.jp

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

1. 本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。
2. こうした人たちが、高度化・複雑化するとともに持続的な発展が求められる社会に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、社会科学諸分野の総合的な学修を通じた基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的な能力が重要です。そこで、学生の総合的基礎力を高めることを本学部の教育目的とします。
3. この目的を達成するために経済学、経営学を中心とした体系的なカリキュラムを編成するとともに、課題探究、双方向教育技法に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

1. 経済学、経営学を中心とした社会科学への関心や基礎学力を有する人
2. 自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ人
3. 現在の自分について自己表現ができるとともに、多様な考えを理解し、他者と協働しながら課題解決に向けて努力ができる人
4. 責任感と倫理観を備え、国際化・情報化のなかで、地域・国際社会の持続的発展に貢献しようとする意欲をもつ人
5. 知的好奇心を持ち続けることができ、バイタリティーあふれる人

卒業後の進路

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば、国税専門官、労働基準監督官、裁判所・法務局・労働局・厚生局・税関職員などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、シンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば外国企業で働くこと、企業・公務・ボランティアで海外勤務すること、また地域社会・企業でインバウンドなど国際交流に携わって働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場・警察やマスコミ、病院、福祉施設、ボランティア組織などで働くことをめざす人）

- ・事業創造（起業）に携わることをめざす人（たとえば、ベンチャービジネス、地場産品を扱う6次産業、NPO・NGOなどを立ち上げたり、起業を支援する公務・事業コンサルタントなどで働くことをめざす人）

各コースの求める学生像

【経済分析・政策コース】

- ・公的な政策に対して有権者や企業などがどう反応するかという問題に関心のある学生
- ・公的部門や金融機関などで政策立案に携わりたい学生

【IBP（International Business Perspectives）コース】

- ・国際交流に興味があり、国際業務での活躍を志望する学生
- ・地球規模の課題を身近な課題として考え、世界の多様性に関心がある学生

【会計コース】

- ・企業経営に関心があり、財務諸表の作成・分析をしたい学生
- ・簿記・会計的な視点から、企業経営上の課題を見つけ出し、多様な分野の学修を通じて、課題解決に向けて取り組む意欲のある学生

【社会イノベーションコース】

- ・身近な課題を社会的なものとしてとらえ直すことに関心がある学生
- ・そうした課題に対して、多様な形での関わり方を柔軟に提案したい学生

【生活・仕事創造コース】

- ・持続可能性に課題のある地域について、人、自然、文化、産業、歴史などの地域資源をつないで活用することに関心がある学生
- ・そうした地域に入り、生活環境に密着した問題を発見し、解決を提案したい学生

【地域経営・法コース】

- ・地域の活性化や地域住民の安定的な暮らしの保障に関心をもち、地域経営と法律の双方の学修を志す学生

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

・総合型選抜

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

・帰国生徒選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・社会人選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

・第3年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科の試験	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○		○		
	面接（グループディスカッション）	○	○	◎	○	○	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
	推薦書	○		○	○	○	
総合型選抜	小論文	○	○		○		
	面接	◎	○	◎	○	◎	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
調査書		○		○	○		

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

- ・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

- ・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、個別学力検査（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）（女子枠）

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科

学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（一般推薦）（女子枠）

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない方を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学試験

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する方を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分			学力の3要素			求める資質・能力				
			知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 協働性	数学・理 科の基礎 学力	知的・好 奇心・志 望分野の 興味・意 欲・関心 ねばり強 さ	自立的に 考え、他 者と一緒 に取り組 む姿勢	リーダー シップと 行動力を 発揮する 意志	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（数・理）	○	◎		◎				
		特色加点			☆		☆	☆	☆	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		個別学力検査（面接（口頭試問を含む））	○	◎	○	○	◎	○	○	
	学校推薦型選抜Ⅰ	女子 一般推薦	基礎能力試験	◎	○		○			
面接（口頭試問を含む）			○	○	○	○	◎	○	○	
調査書・推薦書			○				○	○	○	
サイ エンス 推薦		プレゼンテーション		◎		○		◎		
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		調査書・推薦書	○				○	○	○	
学校推薦型選抜Ⅱ	女子 一般推薦	大学入学共通テスト	◎	○		○				
		小論文	○	◎			○			
		面接	○	◎	○		◎	○	○	
		調査書	○				○	○	○	
総合型選抜		面接（筆記試験・小論文・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
		自己推薦書		○			○			
		活動報告書		○	○	○	○	◎	○	
		調査書	○				○	○	○	
その他	帰国 生徒選 抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	私費 留学者 外国人 選抜	学力検査	◎	○		◎				
		面接	○	◎	○	○	○	○	○	
		提出書類	○	○		○	○	○	○	
	編入 3年次 試験		面接（筆記試験・口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
			提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部の教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、DX人材育成基盤プログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

I 帰国生徒選抜

近年、我が国の社会・経済・文化・技術の国際的諸活動の進展に伴い、長期間海外に在留する日本人及びその家族が飛躍的に増加してきています。

今後、ますます国際化の進展が予想される今日、これらの海外在住の、外国の正規の教育制度に基づく学校教育や国際バカロレア等のカリキュラムに基づく国際学校における教育等を受け帰国した豊かな国際経験を有する生徒に対して、日本の大学教育を受ける機会を積極的に与え、国際化時代にふさわしい優秀な人材を育成する観点から、本学では一般選抜とは別に、次のとおり帰国生徒選抜を実施します。

1. 出願資格

(経済学部)

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次の(1)～(5)いずれかに該当する者です。

(理工学部)

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次の(1)～(5)いずれかに該当し、かつ、英語能力試験の「TOEIC L&RとS&Wの両方」又は、「TOEFL iBT」を2022年1月6日以降に受験している者です。

(1) 外国の正規の学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含みます。）を2022年4月1日から2024年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含め2年以上継続して正規の学校教育を受けている者

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。

(2) 外国及び国内において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を2022年又は2023年に授与された者

(3) 外国及び国内において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2022年又は2023年に授与された者

(4) 外国及び国内において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を2022年又は2023年に授与された者

(5) 外国及び国内において、英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を2022年又は2023年に授与された者

※GCE-Aレベル資格の科目数等に関する要件：GCE-Aレベル試験において1科目以上合格（E評価以上）

2. 募集人員及び選抜方法等

・遅刻による試験室への入室限度時刻は、筆記試験は試験開始後20分まで、面接は試験開始時刻までです。

学部	学科等	募集人員	選抜方法等及び試験時間 試験日：令和6年（2024年）1月24日（水）				
経済学部	総合経済学科	若干名 (定員内)	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。 小論文及び面接は、次のとおり行いますので、当日9：30までに経済学部棟玄関前に集合してください。				
			小論文	面接			
			10：00～11：30	13：00～			
理工学部	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム	若干名 (定員内)	大学入学共通テストを免除し、学力試験、面接、英語能力試験「TOEIC L&RとS&Wの両方」又は、「TOEFL iBT」の成績等の提出書類を総合して選考します。 学力試験及び面接は、次のとおり行いますので、当日8：30までに理工学部理工1号館玄関前に集合してください。				
			時間	教科等	科目		
			9：00～ 10：00	理科	「物理基礎・物理」		
			10：20～ 11：20	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Aは「場合の数と確率、 図形の性質」 ※数学Bは「数列、ベクトル」		
			12：30～	面接			
	学部		数理科学プログラム 知能情報システムプログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム	若干名 (定員内)	大学入学共通テストを免除し、学力試験、面接、英語能力試験「TOEIC L&RとS&Wの両方」又は、「TOEFL iBT」の成績等の提出書類を総合して選考します。 学力試験及び面接は、次のとおり行いますので、当日8：30までに理工学部理工1号館玄関前に集合してください。		
					時間	教科等	科目
					9：00～ 10：00	理科	「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から1科目
					10：20～ 11：20	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Aは「場合の数と確率、 図形の性質」 ※数学Bは「数列、ベクトル」
					12：30～	面接	

Ⅱ 社会人選抜

高等学校・大学等卒業後、社会人として経験を重ねるうちに再び大学に入って系統的に学習することを望む者や新たな問題意識を持ち、改めて大学において勉学を続けたいという者が多くなっています。これらの人々に勉学の機会を与えることは、生涯学習の推進という観点からも教育上意義あることと考えられています。

このような状況を考慮して、旺盛な学習意欲を有する社会人に対して大学の門戸を広く開放するために、本学では一般選抜とは別に、次のとおり社会人選抜を実施します。

1. 出願資格

令和6年(2024年)4月1日現在で、下記(1)～(3)に示すいずれかの基礎資格取得後、社会人経験を5年以上有する満23歳以上の者です。

なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち定時制、夜間又は通信制の学校(大学を含む。)に在籍した期間が含まれます。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申し出を行い、関係書類を令和5年(2023年)12月15日(金)【17:00必着】までに提出してください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7471)
--

2. 募集人員及び選抜方法等

- ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、筆記試験は試験開始後20分まで、面接は試験開始時刻までです。

学部	学科等	募集人員	選抜方法等及び試験時間 試験日：令和6年（2024年）1月24日（水）	
経済学部	総合経済学科	若干名 (定員内)	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。 小論文及び面接は、次のとおり行いますので、当日9：30までに経済学部棟玄関前に集合してください。	
			小論文	面接
			10：00～11：30	13：00～

Ⅲ 私費外国人留学生選抜

我が国の国際交流の拡大に鑑み、国際理解・国際協調の観点から本学においても国際交流の推進に積極的に取り組み、国際的に活躍し得る人材を養成するため、本学では一般選抜とは別に、次のとおり私費外国人留学生選抜を実施します。

1. 出願資格

経済学部：次の（１）及び（２）を全て満たしていること。

理工学部：次の（１）、（２）及び（３）を全て満たしていること。

- （１）日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者

ただし、出願時点で日本の国籍と外国の国籍を有する者（いわゆる二重国籍）については、入学手続完了期日までに日本国籍を離脱していることを条件として、日本国籍を有しない者として扱います。詳細は学生支援部入試課までお問い合わせください。

- （２）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（2022年度の第1回、第2回又は2023年度の第1回、第2回の成績の利用を可とするが、複数回受験した者は、出願時にいずれかを指定すること）を受験し、学部ごとに下記の要件を満たしている者

【経済学部】

下記の経済学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」、「読解」の総得点が180点以上であること、及び総合科目と数学の得点の合計が200点以上であること。

【理工学部】

下記の理工学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」、「読解」、「記述」の総得点が5割以上であること。

- （３）英語能力試験の「TOEIC L&RとS&Wの両方」又は、「TOEFL iBT」を受験していること。ただし、2022年1月6日以降に受験した試験に限る。

日本留学試験で課す科目について

学部	学科等	利用科目	数学の選択	理科の選択	出題言語
経済学部	総合経済学科	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語 又は 英 語
理工学部	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム 物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム 建築学プログラム	日 本 語 理 学 数 学	コース2 (理系)	物理 } 化学 } から 生物 } 2科目	日本語 又は 英 語

2. 募集人員及び選抜方法等

- ・大学入学共通テストを免除し、日本留学試験及び本学で実施する下記試験及び出願書類を総合して選考します。
- ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、筆記試験は試験開始後20分まで、面接は試験開始時刻までです。

【集合時刻及び場所】

- ・経済学部受験者は、試験当日の8：30までに経済学部棟玄関前に集合してください。
- ・理工学部受験者は、試験当日の8：30までに理工学部理工1号館玄関前に集合してください。

学部	学科等	募集人員	試験項目及び試験時間	
			試験日：令和6年（2024年）1月24日（水）	
経済学部	総合経済学科	若干名 (定員内)	数学又は英語から1教科 数 学「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 英 語「コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	9：00～10：00
			小論文	10：30～11：30
			面 接	13：00～
理工学部	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム	若干名 (定員内)	理 科「物理基礎・物理」	9：00～10：00
			数 学「数学Ⅰ・数学Ⅱ ・数学A・数学B」 ※数学Aは「場合の数と確率、 図形の性質」 ※数学Bは「数列、ベクトル」	10：20～11：20
	面 接		12：30～	
	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム		理 科「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 から1科目	9：00～10：00
数 学「数学Ⅰ・数学Ⅱ ・数学A・数学B」 ※数学Aは「場合の数と確率、 図形の性質」 ※数学Bは「数列、ベクトル」		10：20～11：20		
		面 接	12：30～	

IV 各入試の共通事項

1. 採点・評価

【経済学部】

- ・小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。
- ・面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

【理工学部】

- ・面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。
- ・TOEL iBTのスコアはMy Best Scoresではなく、Test Date Scoresを評価します。

【注】入学者選抜において、必要な試験項目を受験しなかった場合は、0点ではなく、不合格となります。

2. 出願期間

令和6年（2024年）1月4日（木）～1月9日（火）17：00まで（必着）

出願は郵送のみとします。必ず本要項に添付されている封筒を用い、**速達書留**で郵送してください。

ただし、郵送が出願期間に間に合わない場合は、1月9日（火）に限り持参を認めます。（受付時間は、9：00から17：00まで）

【注】出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

3. 出願に必要な書類等

外国語のものは日本語訳文を添付してください。

書類名	内容等	該当者(注)		
		帰	社	外
入学志願書、受験票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるもの。)を貼りつけてください。※写真裏面には、志願学部及び氏名を記入すること。	○	○	○
身上記録書		○		○
志願理由書	本学所定の用紙に 志願者が自筆 で作成したもの	○	○	○
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	最終出身学校長が作成したもの	○	○	○
最終出身学校の成績証明書	最終出身学校長が作成したもの	○		○
調査書及び成績証明書	高等学校等を卒業した者は、高等学校長等が作成し、厳封した調査書を、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定合格者は、同試験の合格成績証明書を提出してください。なお、大学や専門学校等を卒業した者は、その成績証明書を高等学校等の調査書と併せて提出してください。 ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えていた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、高等学校長等が作成した、①「調査書が発行できない旨の理由書」、②「卒業証明書」、③「成績証明書(又は単位修得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。なお、③「成績証明書(又は単位修得証明書)」が得られない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書(又は単位修得証明書)」が発行できない旨の理由書」を③の代わりに提出してください。		○	
日本留学試験成績通知書のコピー	過去2年で4回利用可としますが、複数回受験した者は出願時にいずれかを指定しコピーを提出してください。			○
TOEIC L&RとS&Wの両方又はTOEFL iBTの成績証明書等のコピー (理工学部志願者のみ)	TOEIC L&R及びS&Wについては両方のOfficial Score Certificate(公式認定証)のコピーを、TOEFL iBTについてはTest Taker Score Report(受験者用控えスコアレポート)のコピーを提出してください。 (2022年1月6日以降に受験したものに限る。)	○		○
住民票	日本在住で外国籍を有する者は、提出してください。			○
旅券の写し	上記の住民票がない場合は、住民票の代わりに提出してください。			△
保護者の海外勤務等証明書		○		
I B資格証書のコピー等	国際バカロレア資格証書所有者は証明書のコピー及び成績評価証明書を、アビトウ資格取得者は、その一般的大学入学資格証明書のコピーを、バカロレア資格取得者は証明書のコピーを、GCE-Aレベル資格取得者はGCE-Aレベル資格成績評価証明書のコピーを提出してください。	△		△
住所シール	本学所定の用紙に、左右両方とも記入してください。	○	○	○
受験票返信用封筒	本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、 344円分の切手 を貼ってください。	○	○	○
入学検定料振替払込受付証明書等 (17,000円)	以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。 ① 金融機関(郵便局を含む)での振込 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続を行ってください(ATM不可)。 ② コンビニエンスストアでの振込 本学ホームページ(https://www.oita-u.ac.jp/)から振込専用ホームページ(上部メニュー「入試情報」→「入学検定料のコンビニ収納」)へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。 【振込専用URL】 https://www.oita-u.net/ 【携帯電話用URL】 https://www.oita-u.net/mobile/ ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。 振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票下の貼付欄にはがれないようのり付けしてください。 ※手数料は本人負担です。  出願書類を受領した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。 (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合(返還額:17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合(返還額:17,000円) ※上記(ア)、(イ)に該当する場合は、20ページ「4. 出願に際しての注意事項(8) 入学検定料の返還請求」を参照してください。	○	○	○

(注) 帰=帰国生徒、社=社会人、外=私費外国人留学生

○=必ず提出してください。 △=該当する方は提出してください。

4. 出願に際しての注意事項

- (1) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (2) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (5) **外国文のものは日本語訳文を添付してください。**
- (6) 改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。
- (7) 出願書類の提出先
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(8) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合、入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～⑥を明記した「入学検定料返還請求願」（A4サイズ、様式任意）を作成し、「振替払込受付証明書（大学提出用）」又は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

- ・ 入学検定料返還請求願に記載する事項
 - ①氏名（フリガナ）、②入試区分、③学部、④郵便番号及び住所、⑤連絡先電話番号、⑥返還請求理由
- ・ 請求期限：令和6年（2024年）2月7日（水）
- ・ 請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

5. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

6. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

- (1) 申出期限
令和5年（2023年）12月15日（金）17:00までに申し出てください。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。
申出期間経過後でも可能な限り相談には応じますが、十分な対応ができない場合もあります。
- (2) 申出方法
本要項に添付している「令和6年度（2024年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」（診断書等必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。
- (3) 申出先
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

7. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

災害に関する特別措置（入学検定料、入学料・授業料免除等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>）でお知らせします。

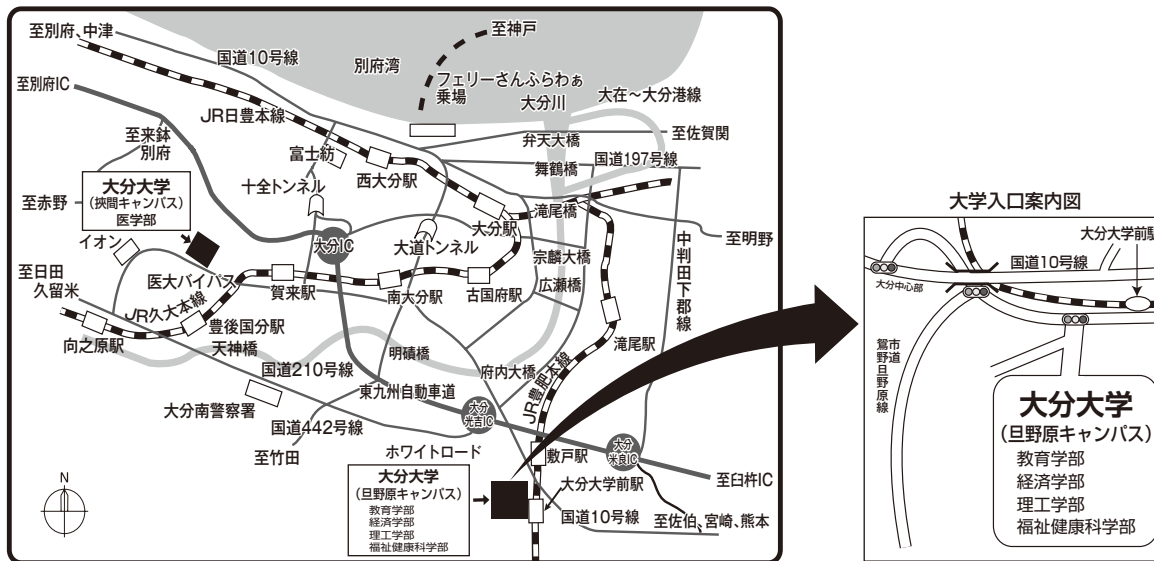
8. 受験票

受験票は、出願期間終了後、本人宛に送付します。

9. 試験場

学 部 名	試 験 場	所 在 地
経済学部 理工学部	大分大学 ^{だんの はる} 巨野原キャンパス	大分市大字 ^{だんの はる} 巨野原700番地

大分大学位置図



交通アクセス

〈JR利用〉○JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約15分）、徒歩約10分

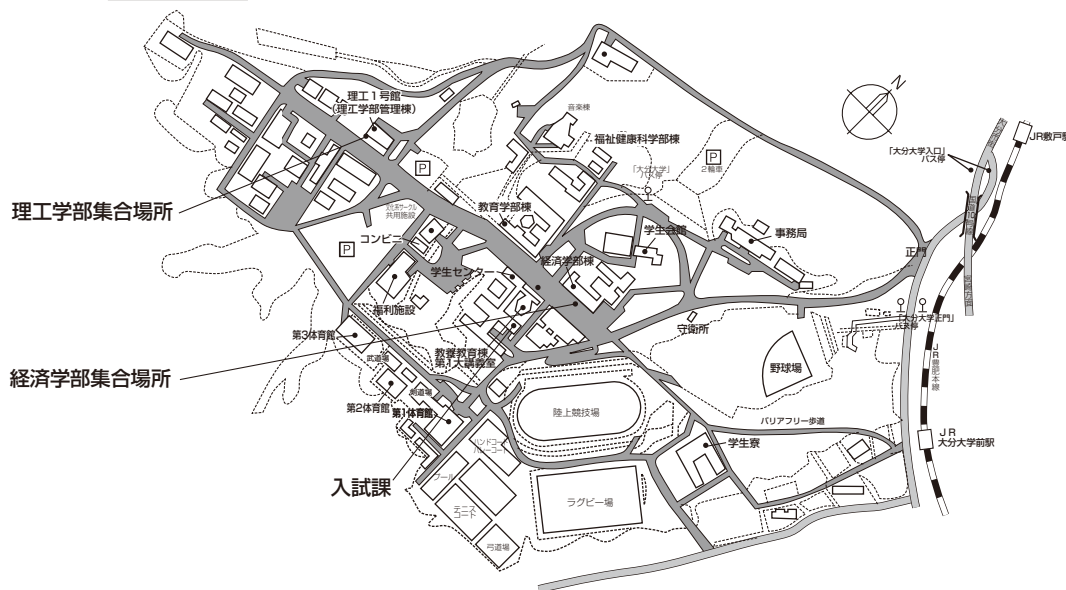
〈バス利用〉大分バス

〔中央通り①のりば（トキハデパート前）〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前3番又は4番のりば〕から

○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、
「大分大学」又は「大分大学正門」下車

○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、徒歩約10分
（詳細は時刻表で確認してください。）

学内案内図



10. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験項目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (ア) 入学志願書、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（20ページ参照）が必要です）
 - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (ケ) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
 - (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (オ) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11. 合格者発表

合格者発表日時	令和6年（2024年）2月16日（金） 10：00
---------	---------------------------

合格者は、上記の日時に本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

12. 入学手続等

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

(1) 入学手続期間

期 間	令和6年(2024年)3月11日(月)～3月15日(金)17:00まで(必着)
-----	---

※入学手続は**郵送のみ**とします。入学手続の詳細は、合格通知とともに郵送します。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取扱います。

また、入学を辞退する場合には、その旨を学生支援部入試課(TEL 097-554-7471)に連絡してください。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることがあります。その場合、事前に、学生支援部入試課(TEL 097-554-7471)に連絡してください。

(2) 入学の時期は、令和6年(2024年)4月です。

(3) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません)の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください。また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります(最大6か月)。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除となります。また、大分大学独自の授業料奨学融資制度があります。詳細については学生・留学生支援課奨学支援係(TEL 097-554-7386)までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません)の予約候補者又は入学料の徴収猶予を申請される方は入学料を払い込まずに入学手続期間に合格通知とともに送られてくる書類の指示に従って必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

(4) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

13. 入学試験個人成績の開示

本学においては、大分大学特別選抜個人成績を受験者本人に限って開示します。

開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：令和6年(2024年)5月1日(水)から5月31日(金)17:00まで(必着)

※土日及び祝日は除きます。

申 込 者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)

申込方法：次の書類等を持参又は郵送で学生支援部入試課に提出してください。

- ①入学試験個人成績開示申請書（本学ホームページから印刷して入手してください。）
- ②受験票のコピー又は写真付きの身分証明書のコピー
- ③返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、434円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日通知します。

開示内容：令和6年（2024年）4月下旬に、本学ホームページでお知らせします。

14. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

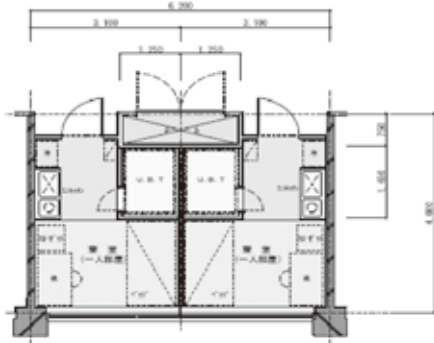
15. 大分大学学生寮のご案内（予告）

※内容は変更になる可能性があります。正式な募集内容については、本学ホームページへ掲載する募集要項をご覧ください。

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

＜学生寮の概要＞



（上図は2部屋を示します。）

下記QRコードより部屋の様子をご覧いただけます



対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

（バリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。（主に、肢体不自由のある学生用））

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

＜必要経費＞

（金額は消費税率等により変更になる可能性があります。）

居室使用料	維持管理費・水道料	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円／月	4,000円／月	2,037円／月	26,400円／入居時

・電気料は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

＜募集人員等＞

■募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）（バリア・フリータイプの居室、女1室を含む。）

■入寮許可：学部生…4年間（医学部医学科は6年間）

大学院生及び3年次編入学生…2年間（医学部医学科の2年次編入学生は5年間）

＜選考区分等＞

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・ 帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院入試の合格者
申込期間	令和6年（2024年）1月22日（月）～2月7日（水）（入試出願期間とは異なりますので注意してください。）	
結果通知	令和6年（2024年）3月12日（火）	令和6年（2024年）3月22日（金）

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

＜入寮者募集要項の入手方法＞（募集要項公表予定：令和5年（2023年）12月上旬）

本学ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ→学生生活→学生寮・アパート）

右の二次元バーコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課学生支援係 TEL：097-554-7443 E-mail：seiksien@oita-u.ac.jp



入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだん の はる 大分市大字巨野原700番地
大分大学学生支援部入試課

TEL 097 (554) 7471
FAX 097 (554) 7472
URL <https://www.oita-u.ac.jp/>